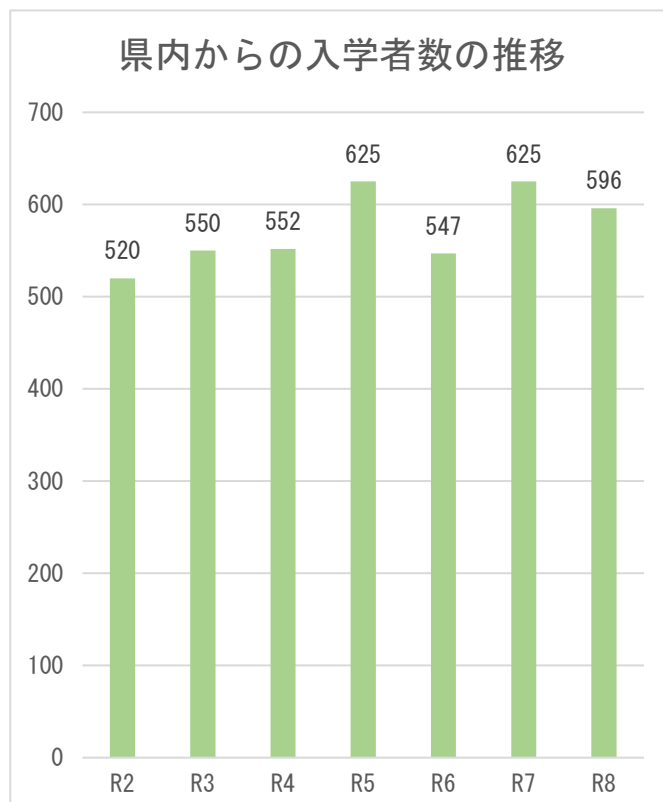
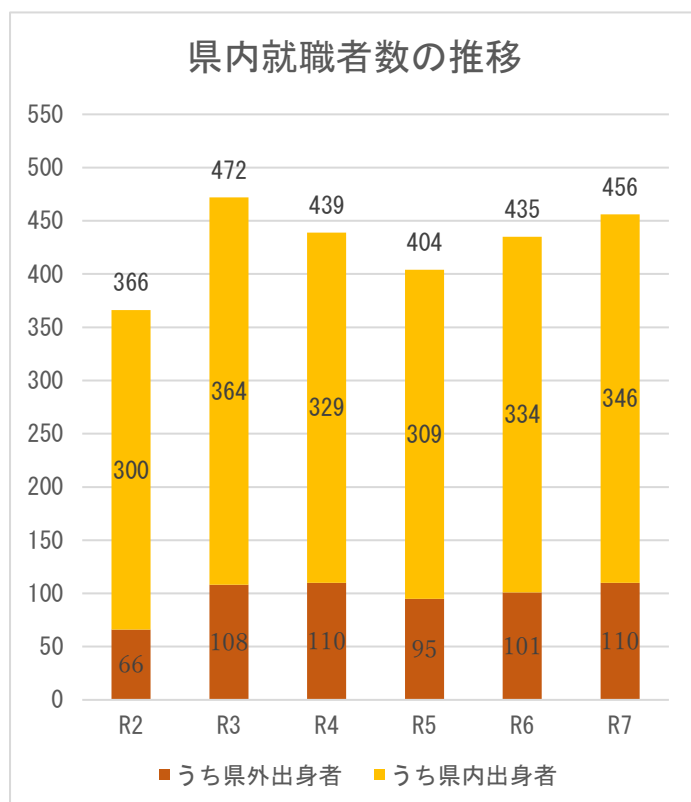
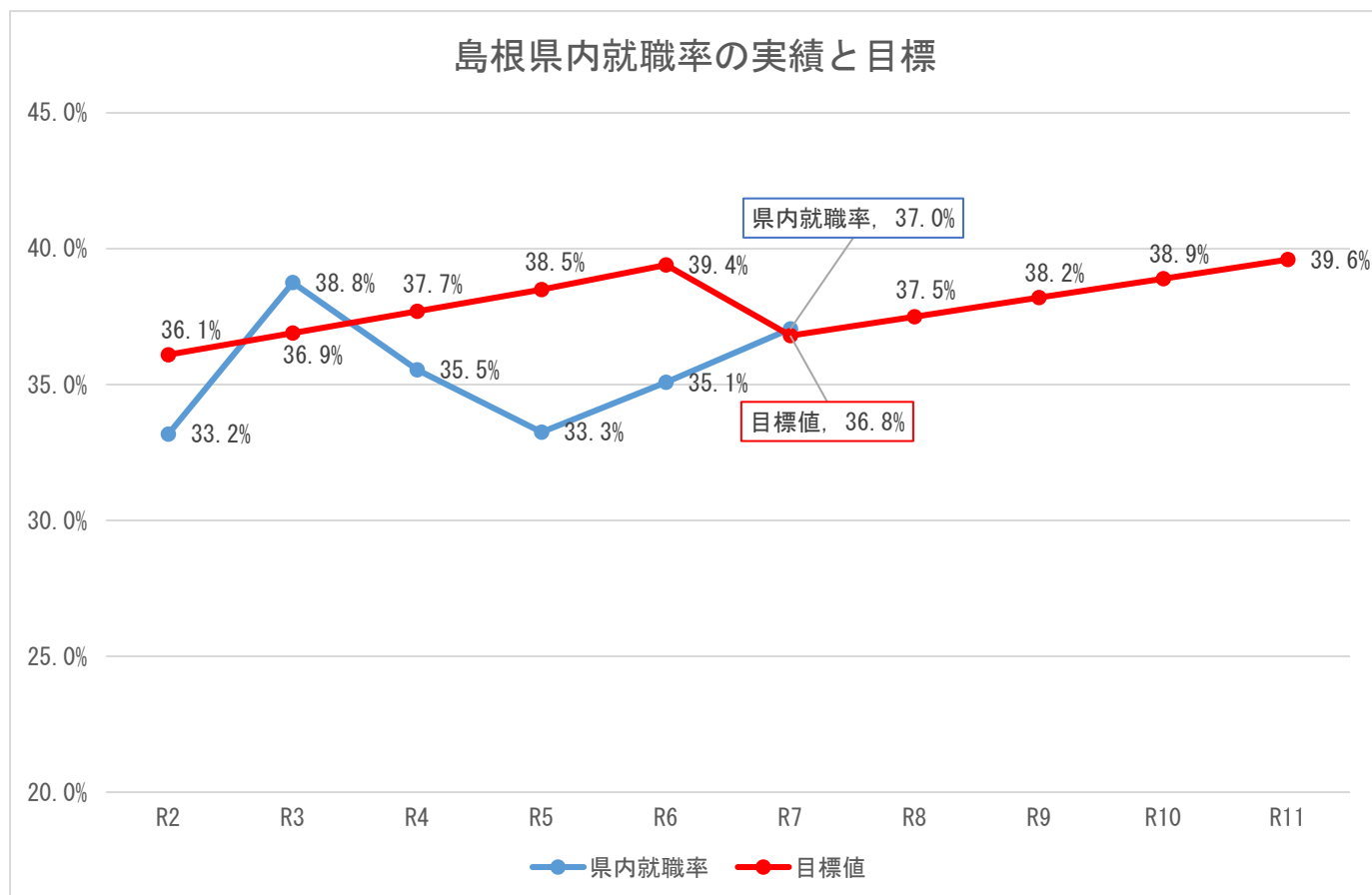


しまね産学官人材育成コンソーシアム
令和7年度事業の評価

【目次】

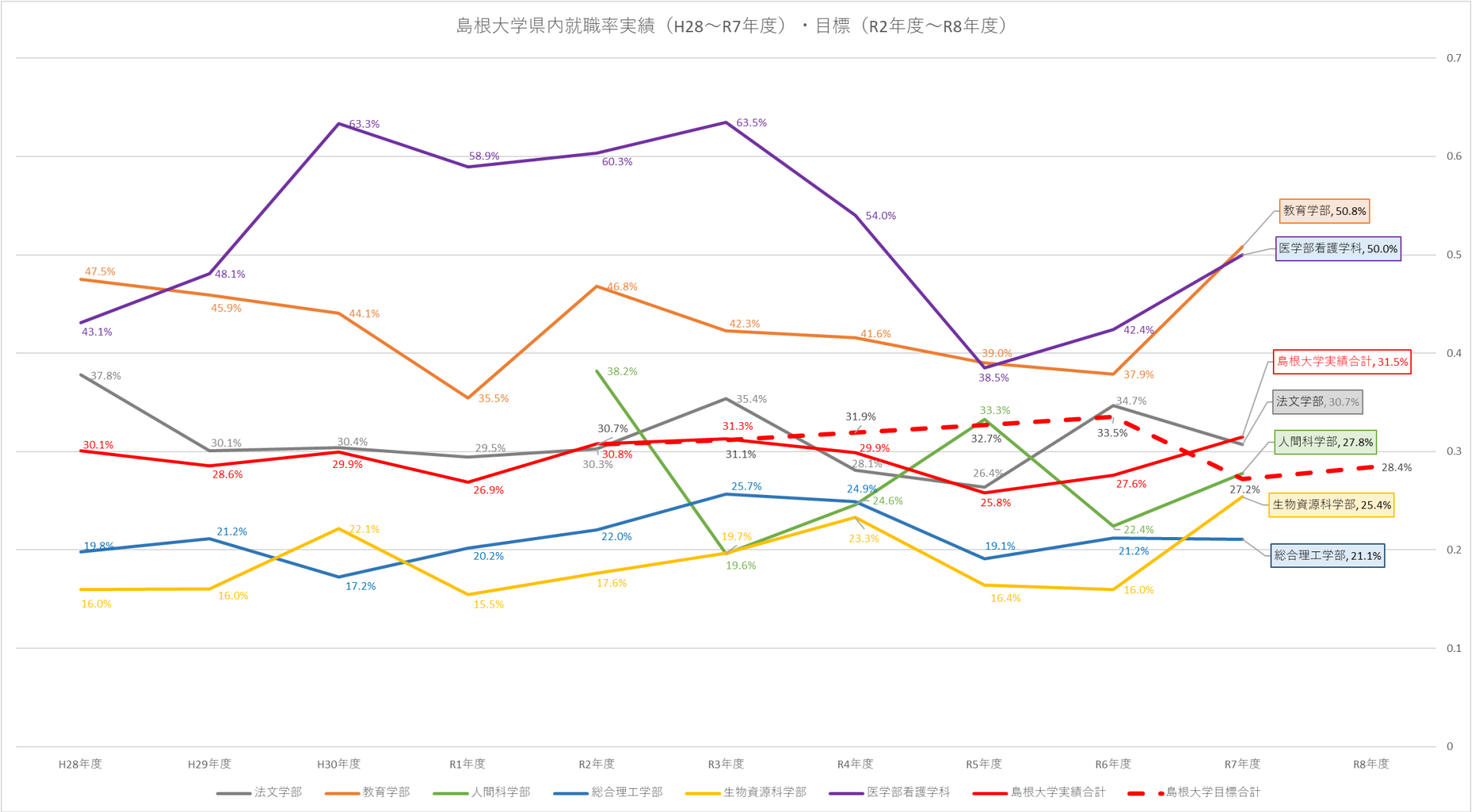
1. 令和7度のKPI達成状況	1
2. 令和7年度事業の成果と実施内容	2
資料1：島根大学	3
(1) 県内就職率の推移	3
(2) 県内入学者率の推移	4
(3) 県内就職者数×県内入学者数の推移	5
資料2：島根県立大学	6
(1) 県内就職率の推移	6
(2) 県内入学者率の推移	7
(3) 県内就職者数×県内入学者数の推移	8
資料3：令和7年度事業振り返り	9



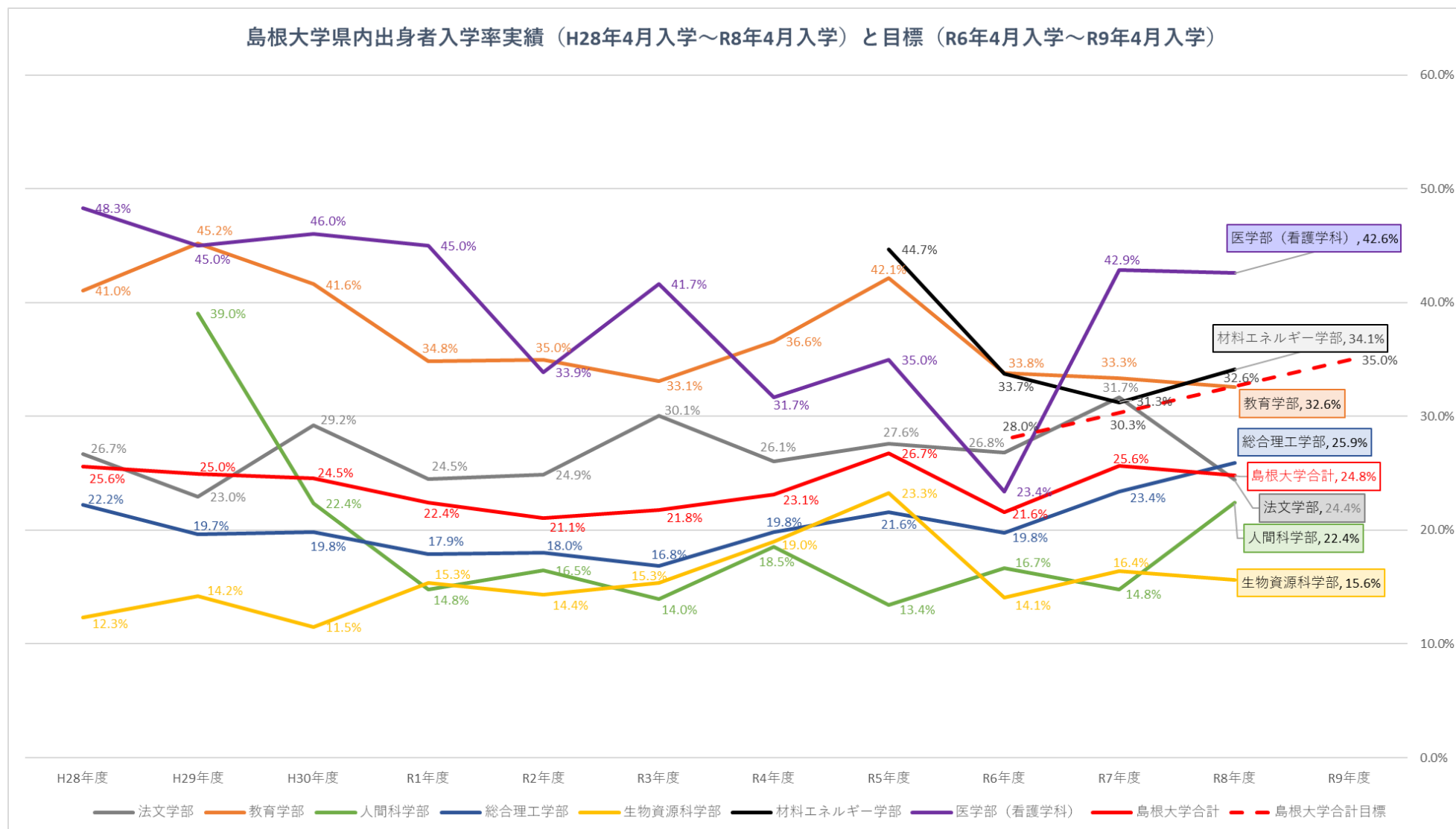
令和7年度事業の主な成果と実施内容

成果と実施内容	
最終K P I	【成果】島根県内就職率 ・実績：37.0%（目標：36.8%） 島根大学 31.5%、県立大学：45.1%
【ステージ1】 県内大学を知る	【成果】オープンキャンパス参加者数 島根大学 2794名：うち県内高校生 932人 県立大学 1405名：うち県内高校生 630人 【実施内容】 両大学のアドミッション部門や地域連携部門が島根県教育委員会と連携しながら、高大接続事業を推進するための情報を共有しながら取組を計画的に進めた。高大連携推進員の配置、専門高校への理数教科の教員配置などの体制を整備するとともに、大学訪問、出張講義、オープンキャンパスなどを通じ、高校生の県内大学への理解・関心を深め、高校生の大学進学への目的意識、意欲、動機づけを高めるように取り組んだ。
【ステージ2】 島根の企業を広く知る	【成果】企業見学ツアー及び交流会の参加数 参加学生数 354名、参加企業数 102社 【実施内容】 両大学と連携し、低学年向けに島根県の地域の企業を観光地とセットで巡ることで、多様な人・くらし・仕事の魅力に直接出会い、地元企業の魅力や働く上でのやりがい等を知るきっかけづくりに取り組んだ。 しまね大交流会では、U・Iターン経験者から直接話を聞けるセミナーを新たにメニューに組み込み、島根で暮らし、働くことについてのイメージを描けるように取り組んだ。
【ステージ3】 関心の高い企業を深く知る	【成果】企業と学生が直接かかわる教育プログラムへの参加数 参加学生数 2192名、参加企業数 265社 【実施内容】 県内企業に対する理解を深めるため、地域の企業団体と協働して地域や企業の課題解決に取り組む地域密着型のプロジェクトを授業や研究事業により実施した。 また、こうした取組をさらに進めるため、県立大学に協働教育コーディネーターを配置しサポート体制を強化した。
【ステージ4】 企業を選択する	【成果】県内企業等へのインターンシップ等参加数 申込企業数 492社、申込学生数 560名 【実施内容】 県雇用政策課、ジョブカフェしまねと両大学が連携し、インターンシップ体験者数の増加や、就活期における社会人（OB・OG等）との接点拡大に努めた。特に大学内で開催するインターンシップフェア、業界研究会に力を入れた。
その他	【成果】県内定着協働フォーラム 参加企業数 53社、参加者数 105名 【実施内容】 若者に選ばれる企業に向けて必要な取組を、企業経営者も交えて各社の人事担当者とともに学ぶ場として新たに取り組んだ。フォーラムのテーマは賛助団体からの要望を踏まえながら取り組む。

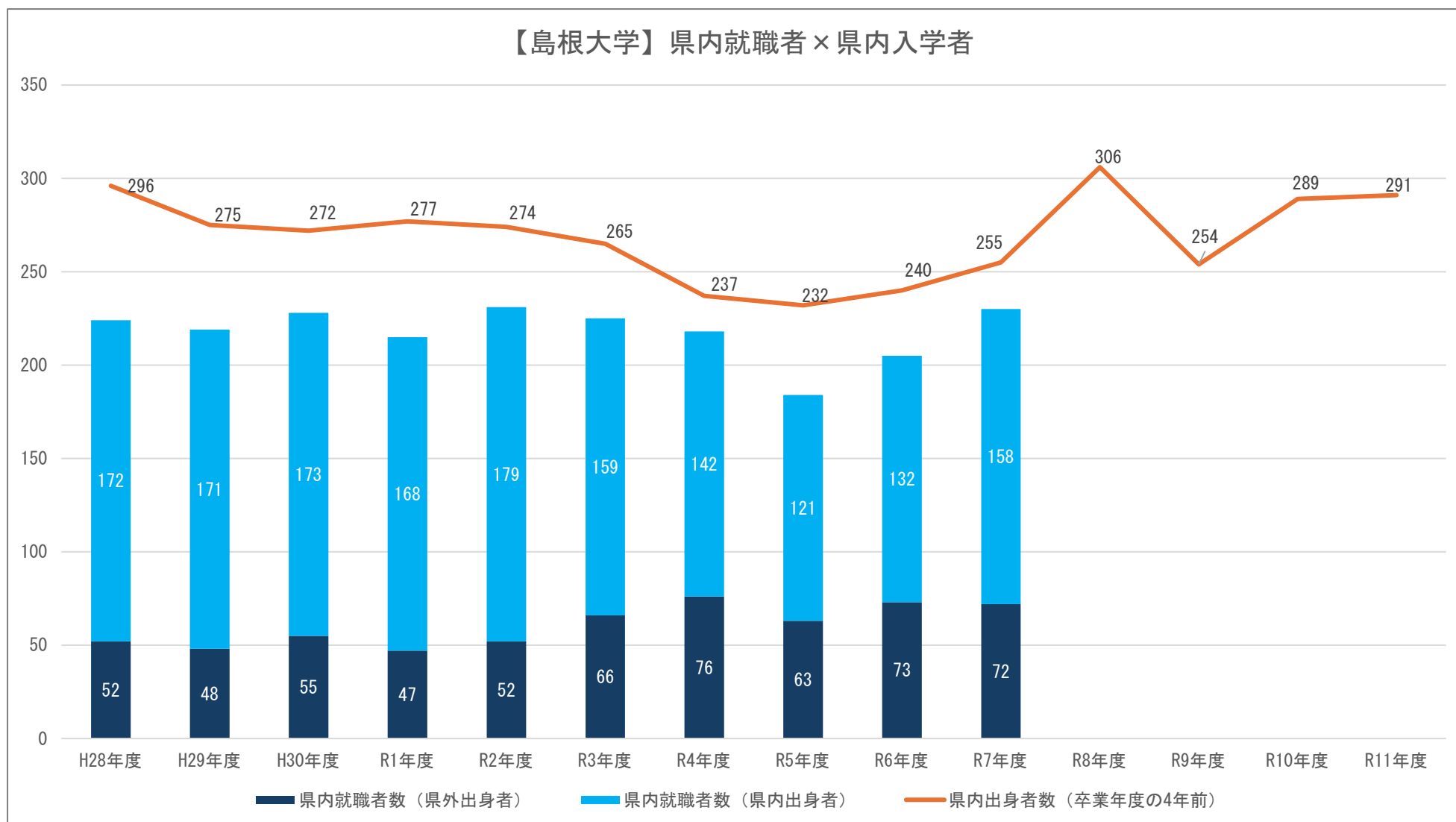
資料 1：島根大学
(1) 県内就職率の推移



(2) 県内入学者率の推移

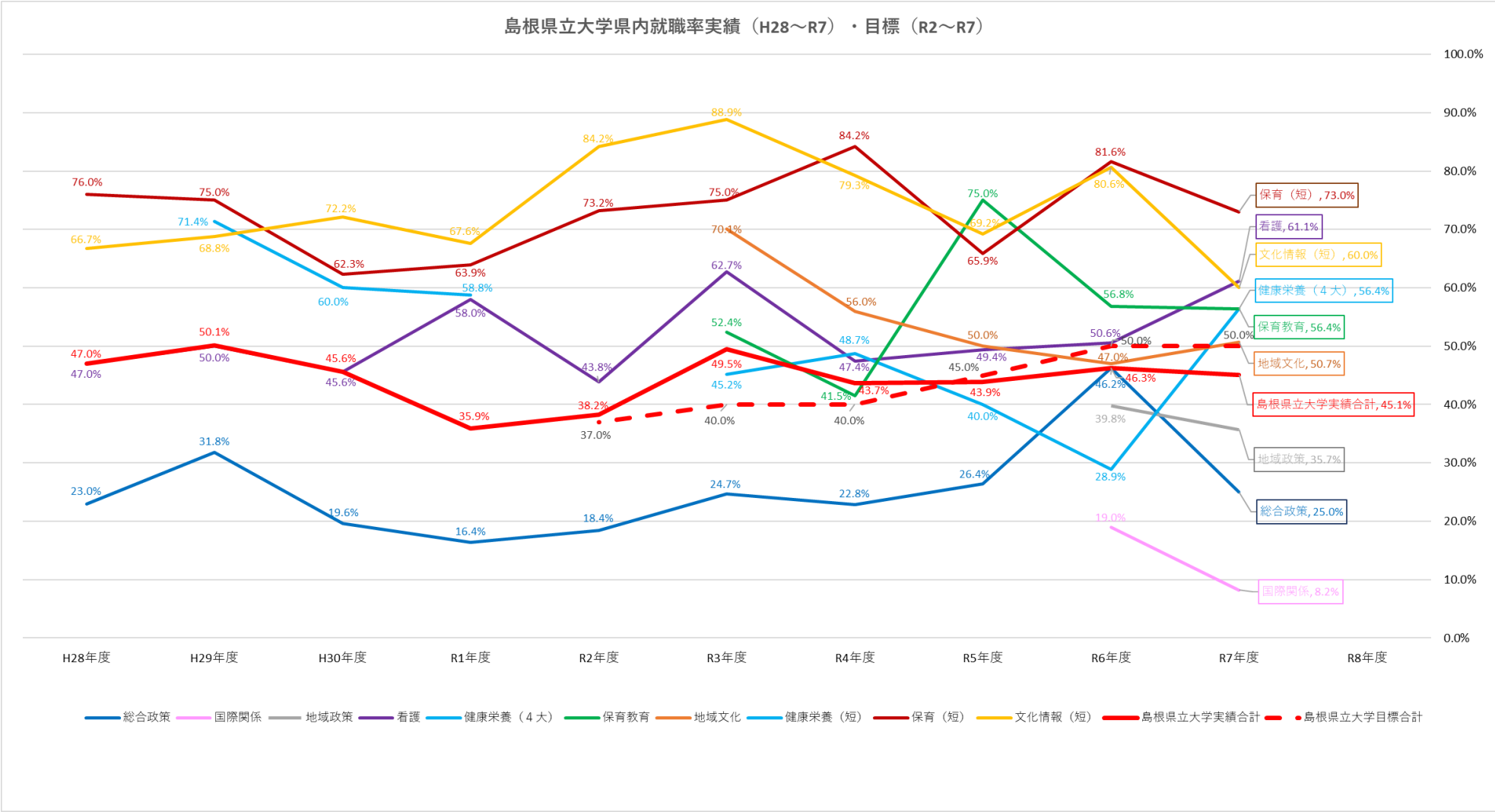


(3) 県内就職者数×県内入学者数の推移

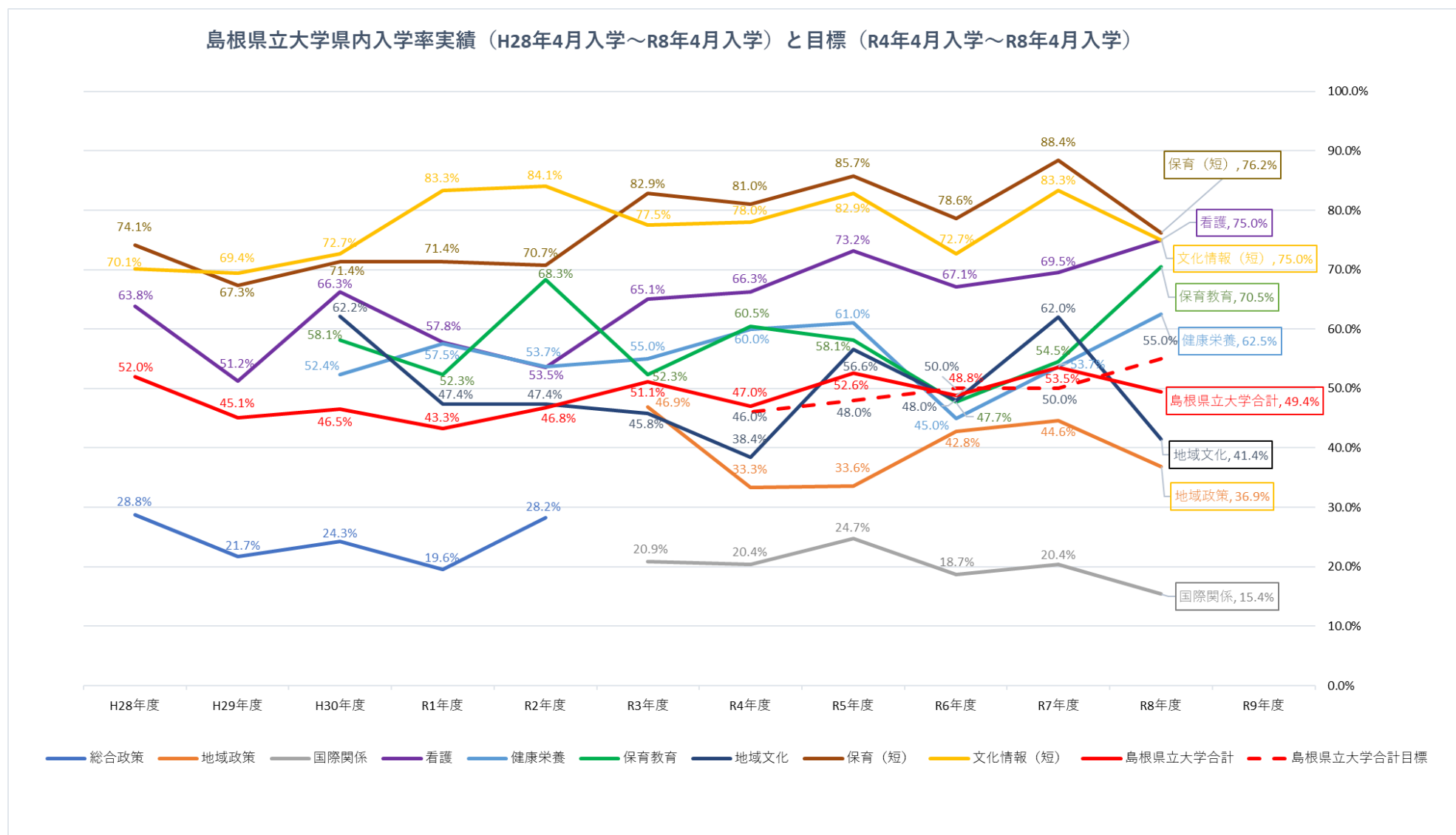


※県内出身者数は、当該年度の卒業生が入学した年度の県内出身者数

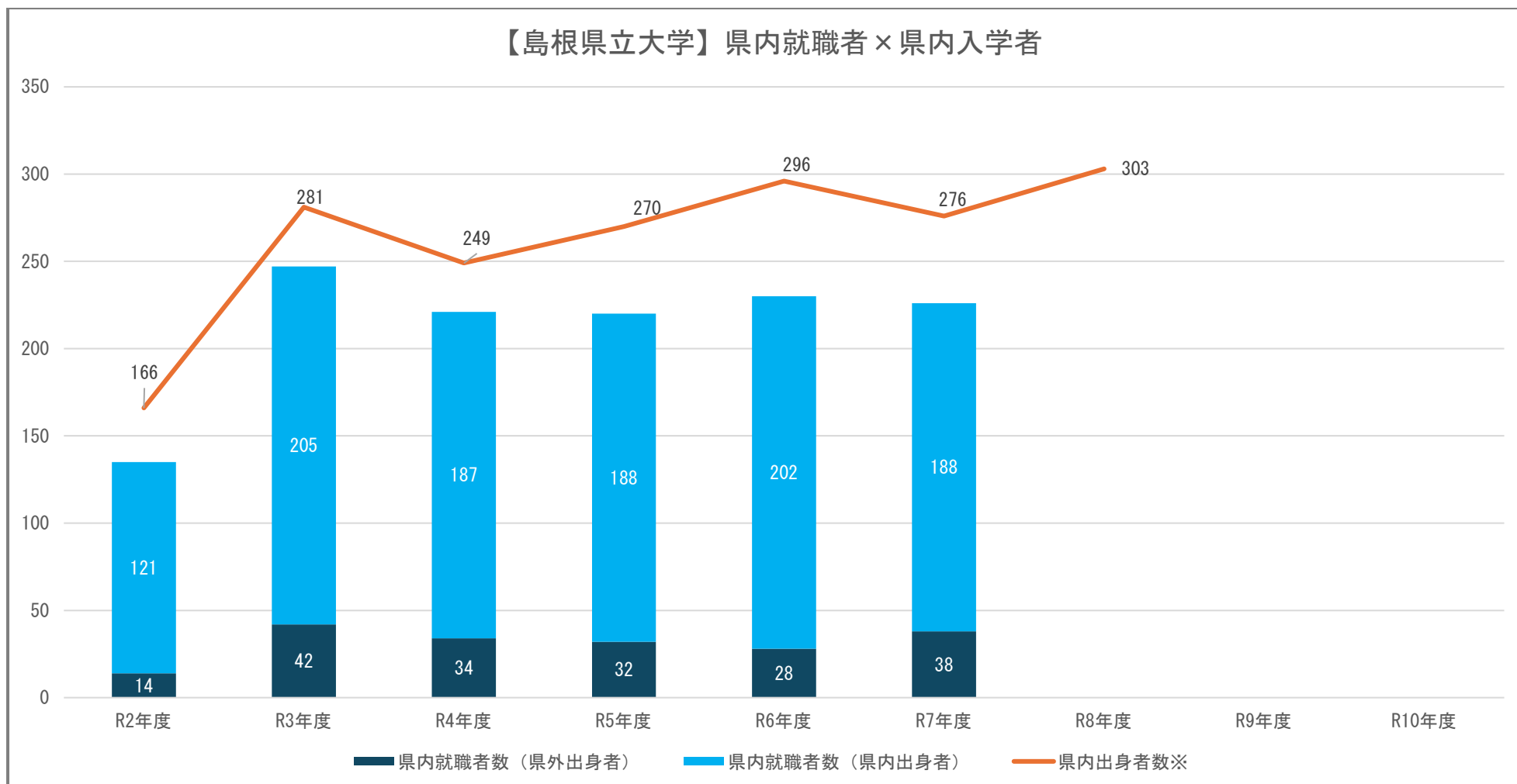
資料 2：島根県立大学
(1) 県内就職率の推移



(2) 県内入学者率の推移



(3) 県内就職者数×県内入学者数の推移



※県内出身者数は、当該年度の卒業生が入学した年度の県内出身者数

令和7年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業振り返り

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模	事業実績	令和8年度に向けての改善変更
1 県内大学を知る （担当：島根県教育委員会、各高等教育機関）					
島根県教育委員会と県内大学の連携強化のための体制構築などにより、県内高校生が県内大学を知る取組を強化する。	i）県立高校に高大連携を推進するための人材を配置する（島根県教育委員会実施事業）				
	○主幹教諭の配置	・授業改善や地域との協働に加え、高大連携や入試改革に適応した取組を推進するため、校内をリードできる職階の主幹教諭を全普通科高校に配置する。		県内普通科系高校21校へ各1名配置	継続して21校へ配置し、生徒の確かな学力育成と進路保障の取組を進める。
	○高大連携推進員の配置	・県内大学への理解・関心を深める取組を行うため松江、出雲、浜田に各1人配置、島根大学理系学部との連携強化のため松江に高大連携推進員を1人配置する。 ・県内の高校生を対象とする、探究学習や進路を考える際に役立つ放課後・休日における講座等（「あなたの背中そっと押しますプロジェクト」）を、引き続き、県内大学と協働して、高大連携推進員が企画・実施する。	県内大学への理解関心を深める取組 ・松江、出雲、浜田：各1名 島根大学理系大学との連携強化 ・松江：1名	82講座、482人が参加（令和7年度）	R7年度欠員であった理系担当をR8は配置。理系分野を補強する。高校や県内大学のニーズに応じた講座を企画・実施する。
	○専門高校への理数教科の教員の配置	・理数教科の常勤教員を7校、非常勤教員を2校に配置し、大学進学を目指せる学力の育成により進路選択の幅を広げる機会の充実を図る。	理数教科の常勤教員：7校 非常勤教員：2校	理数教科の常勤教員：5校（兼務含む） 非常勤教員：1校	全ての専門高校に配置。また、一部を正規教員化。
	○「オンライン進路探究ゼミ」の実施	・県内大学の総合型選抜や学校推薦型選抜等への出願を検討している高校3年生を対象とした、進路探究プログラム「オンライン進路探究ゼミ」を、引き続き実施する。	開催時期：7月～8月 参加者想定：約400人	7月1日～8月1日に実施。基礎編高校生459人、応用編124人が参加	高大連携推進員を中心に企画・実施。6月から基礎編開始（6月20日時点で高校生約500名登録）。応用編に向け大学生サポーターを募集し、大学生約90名申込。高校生の応用編実施は7/30-8/4。
	○「しまね探究フェスタ」の実施	【目的】高校生が、探究学習の楽しさを知り、学びに向かう意欲を喚起する。 学校や地域がともに探究学習のあり方を考え、各校の探究学習の質を高める機会とする。 探究学習を支える大学教員、大学生、高校教員等が、所属や立場を越えた対話・交流の機会とする。 【効果】生徒の主体的・能動的な対話が促進された。 大学生の発表を通して、高校生が学びの連続性を実感し、具体的なロールモデルを描くことができた。 【会場】島根大学	開催日：令和8年2月10日 参加者想定：約400人	2月10日に実施。 高校生205名（積雪のため3校不参加）、大学生25名（発表7名、司会・サポーター18名） その他教職員69名、運営27名、外部観覧者7名	会場は島根県立大学浜田キャンパス。引き続き高校生の交流をメインに実施したい。2月12日（金）実施予定。
	ii）県内大学での、高大接続事業の実施	・高校生の大学進学への目的意識、意欲、動機付けを高める。 【大学訪問】高校生が大学を訪れ、大学の概要や学部による体験授業、施設見学を実施 【出張講義】大学教員が高校などへ出向き講義を行う。 ・県内大学のアドミッション部門などが島根県教育委員会と連携しながら高大接続事業を推進するための情報を共有する場を設ける。	実施時期（島根大学） 大学訪問：7月～10月 出張講義：7月～10月	【大学訪問】 学部訪問あり：9/11（島根1、鳥取1）、9/12（島根1、鳥取1）、9/16（島根2） 学部訪問なし：6校来訪（島根3、岡山1、香川1（PTA）、高知1） 【出張講義】 5校往訪（鳥取1、岡山3、兵庫1）	引き続き実施予定
	iii）専門高校に向けたキャリアパスの提示	・専門高校から県内大学に入学した学生へのインタビュー動画の配信 専門高校から大学へ進学した際のアドバンテージや就職像などを専門高校の生徒に引き続き周知する。 ・入試広報の中での専門高校入試の説明強化 総合型選抜「へるん入試」の専門高校入試を引き続き周知する。		へるん入試入学者数 397人 入学者数の内、県内出身者数110人 へるん入試専門高校入試による入学者数33人	専門高校に対して「へるん入試」を引き続き周知していく。
	iv）その他の高大連携活動				
	○島根大学	・オープンキャンパスの開催：各学部や学科の紹介、模擬授業、入試相談などを実施する。 ・高大連携の取組：理系学部を中心とした県内高校生向けの体験型学習として研究室訪問の実施 県内高校のSSH事業に対して課題研究への助言・指導など	開催時期：（松江C）令和7年8月5日～7日 予定人数：松江C、出雲C合わせておよそ2,600人	開催時期：（松江C）R7.8.5～8.7 《出雲C》R7.8.2 申込者数：2,794人（全体） 932人（県内申込者）	引き続き実施予定
	○島根県立大学	・オープンキャンパスの開催：各学部、学科、コースの説明、模擬講義等を実施する。 ・高大連携の取組：探究学習の成果発表会等における講評等、県内高校の魅力化コンソーシアムへの参画 県内高校生向けの研究室の訪問受け入れ等 ・大学生と高校生の交流機会の確保：大学生生活の様子や高校時代における進学の取組等をテーマとした交流	オープンキャンパス 浜田C 7月実施 350人 出雲C 7月実施 200人（3年生） 12月実施 120人（1・2年生） 松江C 7月実施 500人 （短大：250人、学部：250人）	オープンキャンパス 浜田C 7月実施 298人 出雲C 7月実施 257人（3年生） 3月実施 118人（1・2年生） 松江C 7月実施 709人 （短大：260人、学部：449人） 10月実施 23名（ミニ）	出雲Cのオープンキャンパスを全学年対象とし、同一日付で実施する。また参加人数を拡充する。

令和7年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業振り返り

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模	事業実績	令和8年度に向けての改善変更
2 企業を広く知る (担当：島根県雇用政策課、各高等教育機関)					
(島根県実施事業) 雇用政策課と各高等教育機関が相互に連携を図り、低学年次（1～2年生）を対象とした企業見学バスツアーや学生×社会人交流会などを企画・実施することで、島根の企業を知る機会を広く提供する。	i）島根大学との連携事業				
	○企業見学バスツアー	①島根大学×島根県立大学新入生歓迎バスツアー（5月） ・島根大学及び島根県立大学松江C1年生を対象に、島根県の魅力と島根に対する興味関心を高めるためのバスツアーを実施する。 ②島根大学低学年向け企業見学バスツアー（6月～11月） ・1～2年生を対象に、島根県の観光地や企業を巡ることで、島根で働くことや暮らすことの魅力を体感してもらうためのバスツアーを実施する。 ・西部コースに関しては、島根県立大学浜田C1～2年生も対象に実施する。	①参加企業数：1社程度 参加学生：35名程度 実施回数：1回 ②参加企業数：2社程度 参加学生：20名程度 （西部コースは30名程度） 実施回数：6回	①島根大学×島根県立大学新入生歓迎バスツアー 参加企業数：2社 参加学生：30名 実施回数：1回 ②島根大学低学年向け企業見学バスツアー 参加企業数：12社 参加学生：103名 実施回数：6回	①島根大学×島根県立大学新入生歓迎バスツアー ・事業準備期間を確保するため、実施時期を5月から6月へ変更 ②島根大学低学年向け企業見学バスツアー ・ツアーの効率的な企画運営のため、実施回数を6回から4回へ変更
	○島根大学×島根県 協働教育促進プロジェクト （島根大学のキャリア関連・地域志向系科目と島根県雇用政策課との協働教育）【新規】	・大学側が認識する、学生に関する課題である「視野を幅広い選択肢に広げる」、「地域貢献という視点に目を向ける」、行政側の「県内で活躍・定着する若者の母数を増やす」という課題解決に取り組むため、授業内容とイベントとの連携方法を模索し、実践することを目指して、県、ジョブカフェしまね、島根大学関係者が定期的に検討会を行い、授業への反映に試験的に取り組む。 例えば、講義の1コマに、これまで実施していたインターンシップフェア・企業ガイダンス等が組み込まれることをイメージとする。 反映による効果等を検証しながら、取組の拡大ができないか検討していく。	2～3カ月程度の定例会の実施 反映できるものはR7年度授業（キャリア関連科目）から反映	島根大学×島根県 協働教育促進プロジェクトの協議を3回実施（1回目：6/16、2回目：9/8、3回目：12/5） 島根大学の授業と県などが主催するイベントの連携について検討を行った。	令和7年度プロジェクトチーム内で、授業とイベントの連携手法について検証・確認できたことから、県・ジョブカフェの個別のイベントごとに活用方法を取り入れることとし、プロジェクトは終了する。
	ii）島根県立大学との連携事業				
	○企業見学ツアー	・島根県の各地域の企業と観光地をセットで巡ることで、多様な人・くらし・仕事の魅力に直接出会い、地元企業の魅力や働くうえでのやりがい等を知るきっかけとする。	参加企業数：14社程度 参加学生：75人程度	訪問企業：14社 参加学生：43名	学生への周知方法の改善を図りたい。
	○学生×社会人交流会	学生と社会人の交流会（1～3年次）通年 ・島根県内で働く社会人（OB・OGや若手社員等）との交流を通して、地元企業の魅力や働くうえでのやりがい等を知るきっかけとする。	参加企業数：72社程度 参加学生：220人程度	参加企業：74社 参加学生：178名	学生への周知方法の改善を図りたい。
(コンソーシアム実施事業)	○しまね大交流会	・県内高等教育機関の就活前の比較的低学年の学生や高校生を対象に、「しまねで暮らす」「しまねで働く」イメージの醸成につながる取組を実施する。 ・県教委と連携して県内高校の意向などを踏まえながら、「県内大学を知る」取組としての県内大学の学生による 所属学部・学科の魅力紹介ブースを設定する。 ・しまね大交流会の開催にあたり、 企業などのニーズに応じた各種 研修会、セミナーなど を 実施する。 しまね大交流会 実施時期：令和7年11月1日（土） 場所：くにびきメッセ	来場者数（学生・生徒）：1,000人 出展数（企業）：100社 ※企業出展料：5万円/1ブース	来場者数(学生・生徒):774人 出展数（企業）:117団体(負担金あり) 7団体(負担金なし)	学生・生徒の来場者数において前年度比▲168人の実績となったが、松江高専生の来場減が主因。 あり方検討チームにおいて、実施目的を達成するため、授業での参加者に加え、自主的に参加する学生を増やすための魅力化UP策、高校生にとっても進路選択の参考となり得るイベントとなるよう、実施内容の見直しを進めている。

令和7年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業振り返り

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模	事業実績	令和8年度に向けての改善変更
3 関心の高い企業を深く知る (担当：コンソーシアム、各高等教育機関)					
(コンソーシアム実施事業) 学生と企業が深く関われる機会をより多く創出することにより、学生の県内企業の理解促進を図る ○企業と学生が直接関わる教育プログラムの実施 ○協働教育コーディネーターと連携し企業や学生、大学などの教職員の相互理解の促進を図る	i) 各高等教育機関の教育プログラムにおいて、企業と連携した授業などを実施する。				
	○島根大学	キャリアデザインプログラム（＝通称CDP）（1～4年次）通年 ・島根大学で学ぶ高度で実践的な専門性を活かし、自身のキャリアをデザインする力を身につけるための教育プログラム。 ・「社会の変化に対応する能力」や「生涯にわたり学び続けるための基礎的・汎用的能力や教養」を身につける。	参加企業数：20社程度 参加学生：150人程度	参加企業数： 39社 参加学生数：919人	継続して取組予定
		地域人材育成コース（1～4年次）通年 ・学部横断型の正課教育・準正課教育を行う教育コース。 ・地域関連科目を系統的に学ぶことで、地域の現状と課題を知り、学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得する。	参加企業数：10社程度 参加学生：300人程度	参加企業数： 6社 参加学生数：333人	継続して取組予定
		地域課題解決型プロジェクト（1～4年次）通年 ・CDP及び地域人材育成コースに所属する学生が、地域の企業や団体と協働して地域の課題解決に取り組む地域密着型のプロジェクト。	参加企業数：20社程度 参加学生：100人程度	CDP 参加企業数： 4社 参加学生数：19人 地域人材育成 参加企業数：15社 参加学生数：76人	継続して取組予定
		企業連携型授業（科目）（1～4年次）通年 ・地域課題探求力、コーディネーション力、グローバル展開力などトランスボーダーな探求力を身に付けるプロジェクト型の教育プログラムや、観光に関して体験的な学習を通じ、地域と観光との関りを学ぶプログラム。	参加企業数：10社程度 参加学生：30人程度	参加企業数：17社 参加学生数：40人	継続取組予定。企業の問題解決の方法として、企業の担当者と学生が協働的に取り組むことができるように授業の構成を組み替える予定。また、トランスボーダープログラムパンフレットを現在作成しており、次年度以降に企業や1年生に配布することでより多くの受講者獲得を目指す。
		県内企業等探求活動支援事業（公募により学部企画支援）通年 ・学生のキャリア教育の一環として、島根県の企業等を深く知る機会を提供することを通して、県内企業、産業等に対する理解を深める活動を支援する。	参加企業数：30社程度 参加学生：310人程度	参加企業数： 57社 参加学生数：382人	各学部で学生と県内企業の接点を増やす授業が実施されており、引き続きコンソ予算を活用し、取組の拡大を図る。
	○島根県立大学	共同研究事業（1～4年次）通年 ・学生が共同研究等に関わることによって、学生の多様な地域志向の研究活動に参加し、島根県内の企業等への訪問や、より魅力あるものにするための企業等への提言、提案を行い、企業等を知る機会となり、学生のより深い企業等への理解促進につなげる。	参加企業数：15社程度 参加学生：120人程度	参加企業数：119社 参加学生：401人	これまで同様に学内外の研究活動費を活用して、学生と企業との接点を作り出していく。
		長期実践型キャリア教育（1～4年次）通年 ・県内企業や行政機関と協力して推進してきた「長期・事業創造型インターンシップ」を三省合意に基づき令和5年度より適用されたインターンシップの定義の明確化に合わせて「長期実践型キャリア教育」と改称し、主として2・3年次の学生を対象としたキャリア教育をキャンパス横断的に展開している。	参加企業数： 7 社程度 参加学生：40人程度	参加企業数：8社 参加学生：22名	学生のフォローだけではなく、企業のフォローにもさらに力を入れる
ii) 協働教育コーディネーターの配置					
	○協働教育コーディネーターの配置見直し	・島根大学、島根県立大学の企業連携授業、キャリア事業のサポート強化 （現）2名（配置先 事務局：2名）→（新）2名（配置先 島大：1名、県大1名） ・就職先県内企業の開拓 ・企業訪問の際には県内大学での学びや取組を積極的に情報提供し、県内大学生などの採用促進を図る。 ・コンソ賛助団体の増加に向けた取組 ・学生と企業が直接かかわる教育プログラムの支援		取組実施済み。	現状の配置により、左記取組内容を継続。

令和7年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業振り返り

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模	事業実績	令和8年度に向けての改善変更
4 企業を選択する （担当：雇用政策課、ジョブカフェしまね）					
（島根県実施事業） 学生が県内企業を選択する機会の提供や動機付けに繋がるよう、インターンシップ、仕事体験（以下「インターンシップ等」という。）の質の向上や量の拡充を図るとともに、学生が企業を選択する直接的な機会となる合同企業説明会などを実施する。 i）インターンシップ等 ・学生のニーズに対応したインターンシップ等を実施することで、県内企業を選択する機会を広く提供し、県内就職を促進する。 ・インターンシップ等の質の向上や量の拡充を図るため、引き続き企業向けセミナーやプログラムチェックシートの活用を通じて企業のインターンシップ等の推進を進めていく。 ・各高等教育機関は学生の県内でのインターンシップ等への参加が増えるよう、引き続きインターンシップ等の重要性、有効性を伝えていく。 ・各経済団体はインターンシップ等の質の向上に繋がるセミナー情報やプログラムチェックシートの活用、県の支援制度などを企業に周知宣伝する。 ii）就活期の取組 ・卒業前年度の10月から卒業年度の9月までを「就活期」と定義した上で、オンラインを活用した情報提供や対面での合同企業説明会などを企画・実施する。 ・各高等教育機関と島根県は就職活動開始の段階で開催されるキャリアガイダンスにおいて、これらのイベントなどがあることを学生に周知宣伝する。	i）インターンシップ等				
	○しまね学生インターンシップ	・学生が将来の職業選択及び適性を見極めるとともに、県内企業への理解を深め県内就職を促進するため、県内企業が実施するインターンシップ（5日以上）の情報をジョブカフェしまねサイトに掲載し、学生への周知宣伝を行うことで県内企業でのインターンシップ実施を促す。（8月～9月）	参加企業数：100社程度 参加学生：150名程度	申込企業数：71社 申込学生：97名	新たにしまね1 Day仕事体験は8月から9月についてもジョブカフェしまねサイトに情報を掲載し、学生への周知宣伝を実施する。
	○しまね短期仕事体験	・学生が県内の企業や仕事への理解を深め、県内企業で働く人の魅力を知ること、県内企業を就職の選択肢としてもらうため、できるだけ多くの学生が仕事体験（3日以上）できるように申込学生と受入申込企業とのマッチングを行う。（8月～9月、2月～3月）	参加企業数：250社程度 参加学生：350名程度	申込企業数：264社 申込学生：328名 参加学生（延人数）：364名	また、ジョブカフェしまねサイト内に学生が直接企業のインターンシップ等へ申込ができる応募管理システムを構築し、しまね1 Day仕事体験は10月から通年での運用を開始。
	○しまね1 Day仕事体験	・学生が県内企業に関する理解を深めてもらうため、県内企業が実施する1 Day 仕事体験（1日程度）の情報をジョブカフェしまねサイトに掲載し、学生への周知宣伝を行うことで県内企業での仕事体験を促す。（10月～2月）	参加企業数：150社程度 参加学生：100名程度	申込企業数：157社 申込学生：135名	しまね学生インターンシップ・しまね短期仕事体験は令和9年度から応募管理システムでの運用を開始予定。
	○インターンシップ等説明会	・インターンシップ等就業体験の参加に興味があったり、参加や実習先の選択に迷っている学生にインターンシップ等の参加を促すため、インターンシップ等プログラムの説明や企業担当者との交流の場を設ける。（6月、12月頃）	参加企業数：30社程度 参加学生：50名程度 実施回数：2回	参加企業数：17社 参加学生：21名 実施回数：2回	新たに6月にしまね短期仕事体験等への参加を促すためのインターンシップフェアを開催予定。
	○インターンシップ等受入企業向け研修会	・県内企業の経営者や採用担当者等を対象に、インターンシップ等プログラムの改善等、採用力向上のための効果的な取組について学ぶセミナーを実施する。	参加企業数：60社程度 実施回数：2回	参加企業数：71社 実施回数：3回	令和7年度と同様に松江・浜田でセミナーを開催予定。
	ii）就活期の取組				
	○学生×社会人交流会 雇用政策課と島根大学との連携事業	①しまだいいンターンシップフェア（6月） ・学生の職業選択の際に有効となるインターンシップ等への参加を推奨し、職種・業界研究や職業観の涵養を図るとともに、県内企業との交流により、県内就職を考える機会を創出する。 ②OBOG交流会（10月） ・県内企業で働く先輩社員との交流を通して、島根で働く魅力や仕事のやりがい、島根での暮らしの魅力などを知ること、県内出身者の地元就職及び県外出身者の1ターン就職を考える機会を創出する。 ③しまね業界研究会in島根大学（1月） ・県内企業との接点と業界研究の場を提供することにより、県内企業への就職を促進する。	①参加企業数：15社程度 参加学生：80名程度 実施回数：1回 ②参加企業数：5社程度 参加学生：20名程度 実施回数：1回 ③参加企業数：40社程度 参加学生：60名程度 実施回数：1回	①しまだいいンターンシップフェア 参加企業数：18社 参加学生：157名 実施回数：1回 ②OBOG交流会（10月） 不開催 ③しまね業界研究会in島根大学 参加企業数：32社 参加学生：60名 実施回数：1回 ※令和7年度は実施時期を10月に変更	①しまだいいンターンシップフェア（6月） ・変更点なし ②OBOG交流会（10月） ・島根大学独自で実施するため、コンソ事業から削除（小規模で複数回実施予定） ③しまだいい業界研究フェア（10月） ・イベント名称を変更 ・実施時期を引き続き10月とする
	○学生×社会人交流会 雇用政策課と島根県立大学との連携事業	①【松江C】ミニ合同企業説明会（4月～6月） ・地元企業等の魅力や仕事のやりがい、島根で働くことの生きがいを学生に伝え、県内就職の促進を図る。 ②【松江C】しまね業界研究会in島根県立大学（12月） ・県内企業との接点と業界研究の場を提供することにより、県内企業への就職を促進する。	①参加企業数：5社程度 参加学生：40名程度 実施回数：3回 ②参加企業数：30社程度 参加学生：40名程度 実施回数：1回	①実施回数：3回 参加企業：15社 参加学生：77名 ②実施回数：1回 参加企業：23社 参加学生：39名	ミニ合同企業説明会は内容の見直しを検討。 学生への周知方法の改善を図りたい。
	○企業の紹介動画配信 ジョブチャンネル	・県内にも魅力のある企業がたくさんあることを知ってもらうため、県内企業の紹介動画をジョブカフェしまねのサイトで公開する。（10月～）	配信企業数：200社程度	配信企業数：212社	配信企業を追加予定
	○学生と企業の交流会 しまねジャンボ企業博	・県内企業に関する理解を深めてもらうため、多数の県内企業を集め、担当者が会社概要、仕事内容、過去の求人状況や業界の状況等を学生に説明する交流会を開催する。（12月）	参加企業数：150社程度 参加学生：300名程度 実施回数：1回	参加企業数：158社 参加者：314名 実施回数：1回	広報に力を入れ、就活生や低学年の学生の参加者の増加を目指す。
	○合同企業説明会 しまね企業ガイダンス	・採用情報解禁の時期に学生の県内企業への就職活動を支援するため、多数の県内企業を集め、県内企業の概要、採用計画等の説明会を開催する。（3月）	参加企業数：200社程度 参加学生：300名程度 実施回数：1回	3月3日開催 参加企業数：196社 参加学生：256名 実施回数：1回	現時点での変更予定なし。
5 その他					
ステージを横断的に取組む内容	○県内定着協働フォーラムの実施【新規】	・賛助団体からの要望を踏まえた県内定着協働フォーラムを実施する。		9月18日(木) 参加企業数：53社 参加者数：105名	R8年9月25日(金)に開催予定
	○協働フォーラムコーディネーターの配置【新規】	・人材定着に関する企業ニーズの把握 ・県内定着協働フォーラム委員会への参画 ・県内定着協働フォーラムの企画及び実施		配置済み。	継続して配置予定
	○学生アンケートの実施	・就職活動に関する学生の意識変化を探るためのアンケートを実施する。		R7年12月～R8年1月に実施。 回答数470	回答内容を踏まえ、より実態を掴みやすい質問項目を検討する。
会議関係	①運営協議会【8月、3月】 ②企画運営委員会【7月、12月、2～3月】		①運営協議会…2回開催 ②企画運営委員会…3～4回程度開催	①運営協議会 第12回運営協議会 8/4 第13回運営協議会 3/24 ②企画運営委員会 第1回 7/15 第2回 12/23 第3回 2/12	継続して取組予定